

あなたの声を
実現します

徹底現場主義!



県議会定例会は6月23日から7月7日の日程で開催され、今任期最後になる一般質問を6月29日に行いました。

少子化による人口減少は岩手県に限らず、日本全体においての大きな課題です。早急に、人口減少社会における新しい社会モデルの構築を進め、持続発展可能な地域を創り上げていかなければなりません。

今回の一般質問においては、長期的課

題として、人口減少対策、各種災害対策。中期的課題として、環境問題、産業振興、医療提供体制の構築。短期的課題として、教育のICT化、アフターコロナ対策、物価高騰対策、県の財源確保策等について、質問しました。

これからも「徹底現場主義」で県北沿岸振興に取り組んで参ります。

なかたい

岩手県議会議員 中平ひとし

令和5年度
一般会計補正予算
(第2号)

中小企業者等事業継続緊急支援金 …………… 10億1,400万円

中小企業者に支援金を支給(法人15万円、個人75,000円。支給要件あり)

中小企業者等賃上げ環境整備支援事業費 …………… 2億円

設備投資・人材育成の経費の一部を補助

教育旅行受入宿泊施設支援緊急対策費 …………… 1億5,900万円

教育旅行の受入に伴う負担増軽減として1泊2,000円を支給

中平ひとし プロフィール

昭和46年久慈市生まれ、久慈市在住51歳。 平成15年に岩手県議会議員初当選、通算4期。
岩手県監査委員、岩手県議会県土整備委員会委員長・議会運営委員会委員長・岩手県議会副議長を歴任。

【質問】公共事業費の財源確保についてどうするか。

【答弁】公共事業による社会資本の整備は、安全・安心な地域づくりを推進するとともに、地域の産業振興を支えるために重要なものであり、安定的に予算を確保していくことが必要。毎年度の予算編成において所要額の確保に努める。

【質問】「新たな水産資源利活用モデル開発業務」について今後の取り組みの方向性は。

【答弁】ウニの蓄養や試験販売に取り組んできた久慈市漁協では、今回、高速バスや新幹線を活用し、朝に水揚げしたウニを、その日のうちに高鮮度の状態で首都圏の飲食店に届ける物流モデルの構築などに取り組むことになっており、事業者が自らのビジネスモデルを構築するとともに、構築したビジネスモデルを生かし、収益力を高めていくことを期待している。

【質問】県北沿岸振興についての取組みは。

【答弁】地域の持つ魅力ある資源を生かした産業振興や、高付加価値化の取組を積み重ねていくことが重要と考えており、県としては、今後とも、関係機関・団体と

連携しながら、地域が活性化するよう積極的に取り組んでいく。

【質問】スピード感をもって久慈～盛岡間の道路横軸整備を進めるべき。

【答弁】国道281号久慈市案内～戸呂町口工区において、現在、トンネル前後の道路改良工事を進めており、同工区の整備を着実に進める。久慈内陸道路については、沿線の市町村と丁寧に意見交換しながら調査の熟度を高め、おおまかなルート等の検討を進めている。

【質問】医師地域偏在解消に向けた岩手医大地域枠の効果と義務履行への取組についての考えは。

【答弁】岩手医科大学地域枠を含む岩手県の制度による養成医師は400名となっている。

現在義務履行中は151名であり、うち61名は県北・沿岸地域で勤務し、地域医療を支えている。令和3年度から、県北・沿岸地域への配置を必須化しており、今後さらに配置人数の拡大が見込まれ、県内の地域偏在の状況は解消に向かう。また各種の取組を通じて、奨学金養成医師が県内に定着するよう努めていく。

水産業振興について

「黄金のウニ収益力向上推進事業」から「新たな水産資源利活用モデル開発事業」を行っている、久慈市漁協南侍浜漁業研究会の取組を、事業スタート以来4年にわたって支援してきました。

令和2年度の企画提案から始まった事業が定着・推進し、新しい水産業のモデルが確立されることで、収益力の向上に繋がります。これからも基幹産業の1つである水産業の振興に取組んで参ります。



2022年12月18日、雪が降る中のウニ漁



蓄養したウニの実入状況(12月)

事業紹介

なかたい

岩手県議会議員 中平ひとし 県政報告紙 No. 41

【発行】中平ひとし事務所 【発行者】中平ひとし

〒028-0052 岩手県久慈市本町1-5 TEL 0194-53-0111 FAX 0194-53-0136

HP : www.nakatai.net | E-mail : hitoshi@nakatai.net | Facebook : www.facebook.com/hitoshi.nakatai



中平ひとし事務所

